

2026 年度

明海大学大学院

応用言語学研究科

博士前期課程 A 日程

外国語試験問題

**注意事項**

- 1 解答開始の合図があるまで、この問題の中を見てはいけません。
- 2 日本語・英語・中国語から 1 言語を選択して解答してください。ただし、母語を選択することはできません。

2026年度大学院応用言語学研究科博士前期課程入学試験問題

No. 1/3

日程	研究科	区分	試験科目
A日程	応用言語学研究科	一般 社会人 外国人留学生	日本語

第1問 (1)～(10)の下線部の読みをひらがなで書きなさい。

- (1) 本研究では、形成的アセスメントに 着目 する。
- (2) 本稿では、下位目標について、概要 を記述するが、分析は行わない。
- (3) 学習を正しく 振り返る ことができるかという項目を設定した。
- (4) それぞれの特徴を多角的に 捉える 必要がある。
- (5) 回答が一部の年代層に 偏り すぎないように、サンプル数を調整した。
- (6) 本調査の結果は、先行研究で報告された傾向に 近似 するものであった。
- (7) 学習者コーパスを分析し、語彙習得の発達的特徴を 探った。
- (8) とりわけ教育現場での対応が 喫緊 の課題となっている。
- (9) 十分な 根拠 を提示したうえで、その意義を論じる必要がある。
- (10) 提案するモデルは、さまざまな学習状況に対応できる 汎用性 を有している。

第2問 (11)～(20)の下線部のひらがなを漢字に直しなさい。

- (11) 実験手順の詳細を記載することで、さいげんせい と信頼性を担保した。
- (12) 調査の手順について、詳細に のべる。
- (13) 語用論的 わくぐみ を用いて分析する。
- (14) 本調査では、言語学習における誤用の頻度と種類の じったい を明らかにした。
- (15) 第4章は、登場人物の心理描写の理解に関する しさ を提供する。
- (16) 本手法は、教育現場での学習者理解に こうけん する可能性が高いと考えられる。
- (17) 当該の分析は、協力者の心理状態やプライバシーの保護に最大限 はいりよ しなければならない。
- (18) 研究目的に適した だとうせい の高い手法に基づいて、調査を遂行する。
- (19) 測定 ごさ は、統計的に許容範囲内であると考ええる。
- (20) この結果は、教育方法の はば を広げる可能性を示している。

第3問 次の文の下線(21)～(25)に適切なことばを下のA～Eから選んで、その記号を書きなさい。

- ・ データの正確性を確保するため、必要情報に不備がある項目は (21) した。
- ・ 状況が改善されない限り、問題は一層 (22) するものと考えられる。
- ・ 本研究の結果は、先行研究を (23) するものである。
- ・ 特定の現象については、未だ十分な (24) がなされていないのではないか。
- ・ 本稿では、文学作品における翻訳の問題を取り上げ、理論的な課題を (25) する。

A. 深刻化      B.提起      C.考察      D.除外      E.追認

2026年度大学院応用言語学研究科博士前期課程入学試験問題

No. 2/3

日程	研究科	区分	試験科目
A日程	応用言語学研究科	一般 社会人 外国人留学生	日本語

第4問 次の文章を読んであとの問(1)～問(4)に答えなさい。

問題文については、  
著作権の関係から掲載いたしません。

2026年度大学院応用言語学研究科博士前期課程入学試験問題

No. 3/3

日程	研究科	区分	試験科目
A日程	応用言語学研究科	一般 社会人 外国人留学生	日本語

- 問(1) 下線部 Aジェスチャー を外来語を用いなくて説明しなさい。
- 問(2) 下線部 B「させていただく」という敬語の違和感 について、どのような違和感があるのか。わかりやすく説明しなさい。
- 問(3) 下線部 C急に締め切りを切られた気持ちになった とあるが、なぜそのような気持ちになったのか。文中の表現を用いながらわかりやすく説明しなさい。
- 問(4) この文章を読んであなたが考えたことを、120字以上150字以内で述べなさい。